県医労新聞

2013年7月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電 話　019-623-8271
ＦＡＸ　019-623-8273
URL http://www.iwate-ken-irou.org/
編集発行人
中　野　るみ子
毎月1回発行1876号(月刊91号)

第59回岩手県母親大会 in 久慈　（6月9日　久慈市文化会館・アンバーホール）

－　目　次　－

１Ｐ　第69回定期大会
　　勤通大スクーリング
２Ｐ　給与削減問題
３Ｐ　参議院選挙へ行こう
４Ｐ　非正規で働く仲間の全国集会
　　国民平和大行進
５Ｐ　全国医療研
６Ｐ　女性部ニュース
７Ｐ　青年部ニュース
６Ｐ　つぶやき、とんがらし
　　５月号パズル当選者
７Ｐ　職場川柳　懸賞パズル
　　７・８月の予定　お知らせ

大好評だった山本万喜雄さんの記念講演

県医労 第69回定期大会

請願署名で職場環境の改善を!

超勤書けず　パワハラ蔓延

県医労定期大会が盛岡市つなぎ温泉「ホテル大観」で6月21、22日の2日間開催され、1年間の運動方針、新役員体制などが採択・決定されました。

大会には、来賓として岩手医労連、いわて労連、日本共産党の各代表から、激励と連帯の挨拶がありました。

大会あいさつをする中野中央執行委員長

○○書記長から県議会への大幅増員請願署名を含む運動方針の提案が行われ、討論では、「夜勤専従試行で、日勤者数が減り、残業がますます増えるのであれば意味がない、本末転倒だ」「師長のパワハラがひどい。超勤を書くと、『そんなことで書くの?』と超勤を取り消された」「体調不良で年次を伝えると、『午後から出てこれない?』と言われた」「調理師の補充がない。30～40代が、頑張っているが、体調を崩している」など、人員不足やパワハラの実態が報告されました。

こうした職場実態を変え、大幅増員を勝ち取るために、9月末までの3ヶ月間に一人10筆以上を目標に、病院玄関前署名行動などを行いながら、請願署名5万筆達成に集中して取り組むことが確認され、運動方針は満場一致で採択されました。

また、臨時・パート職員等の組合費の変更などの規約改正、決算・予算、永年組合員表彰、特別中執の決定もそれぞれ採択され、2日間の大会日程を終えました。

職場の状況を報告する大船渡支部○○代議員

～今、憲法が大事!!～

勤通大スクーリング開催

働くものの通信大学、「勤労者通信大学」が憲法コース、労働組合コース、基礎コースにわかれて取り組まれています(募集は6月末で締め切り)。全員が励まし合って修了しようと、スクーリングが6月19日に開催され、受講者10人が参加しました。

今回は、憲法コースの教科責任者の小沢隆一氏が、東京から講師として参加。「96条改憲」論の「意味」など、中身の濃い学習となり、テスト対策も行われました。

財源不足理由に給与削減
一時金、諸手当連動は阻止

減額措置の内容（抜粋）

【給料月額（経過措置額含む）】
- 総括課長級以上（行政職６級相当以上）△9.4%
- 主査級以上　（〃　３～５級相当）△7.4%
- 一般級　（〃　１～２級相当）△4.4%

【措置期間】
2013年７月～2014年３月の９ヶ月間

【経過】

５月16日、県は国からの交付金が大幅に減額（約83億円）されたことを理由に、給与月額で平均△７・１%（９ヶ月間）、12月の期末・勤勉手当で△９・77%などとする給与削減を、地公共闘（県職員７つの労働組合）に対し提案してきました。

5・30 大衆交渉に臨む地公共闘交渉団

【県当局との交渉】

地公共闘では、人勧にも基づかない不当な提案であることから、白紙撤回を求め交渉を重ねました。５月24日には、知事に８千枚を超えるイエローカード（要請はがき）を提出。同30日には県公会堂で総決起集会を開催し、各単組・支部代表が参加する大衆交渉に臨み、職場状況や家計への影響を直接訴えました。５月31日には、公務共闘（自治労連や県国公などとの共闘組織）でも、削減しないよう県要請を行いました。

６月６日、交渉の山場として再度総決起集会を開催し、県庁周辺でのデモ行進を背景に、総務部長交渉に臨みました。結果、白紙撤回には至らなかったものの、期末・勤勉手当からの減額を除外させ、諸手当への連動を回避させるなど、削減額を圧縮させました。同10日には地公共闘四役と知事との交渉がありましたが、更なる前進回答は得られず、これ以上の押し戻しは難しいとの判断から交渉を終えました。

5・31 公務共闘対県要請

【医療局との交渉】

地公共闘での交渉終結を受け、県医労では医療局との交渉に移行。医療局提案は、医師を除外した以外は、県と全く同じ内容でした。６月18日、本部団体交渉で佐々木医療局長は、「生活実態は非常に厳しい。減額は申し訳ない」とする一方、あくまでも県同様に削減せざるを得ないことを繰り返しました。勤務意欲（モチベーション）の向上など、具体的な改善策については、引き続き事務交渉で詰めることを確認しました。

6・6 地公共闘デモ行進

参議院選挙 あるの知ってる？

3年に一度の参議院選挙（任期は6年）、7月4日が公示で投票日は21日です。

薬剤師のケンイチさんと、ナースのイクちゃんが選挙のことで何やら話をしています。

ケン　選挙にはいつも行ってるでしょ？

イク　えっ？投票したことないよ。投票所がどこかも知らないし。

ケン　じぇじぇじぇ!!ダメだな～!行ったことないの？なんで？

イク　だって、自分が行ったって行かなくったって、どうせ変わらないでしょ？誰が、誰かもよくわからないし。何を、基準に投票したら良いのかもさっぱり。

ケン　そうか～、確かに。選挙になるとみんないいことばっかり言って、実際のところは実行してくれるのか、わからないよな。イクちゃんは、何も興味ないの？

イク　興味はないわけじゃないよ。消費税のこととか、原発がどうなるのかも心配だし。震災からの復興にしても、あまりにも進みが遅いじゃない？

ケン　大事なことじゃないか～!消費税は、来年4月から8％って方向はでているけど、この秋に最終的判断をするらしいよ。

イク　えっ？もう決まったんじゃないの？

ケン　今度の選挙の投票結果で、流れが変わることは大ありなんだ。

イク　へぇ～。

ケン　震災からの復興にしても、全く関係ないところでの復興予算の流用は続いているらしいじゃないか。

イク　え～!そうなの？

ケン　去年は2兆2千億円、今年に入って1兆円を超す予算が使われていて大問題だよ。

イク　それなのに、私たちの給与は減らされるの？ひどいよね～!

ケン　その通りだよ。もっと大変なことに、医療とか介護とか、社会保障に使われる予算は減らされて、患者負担はさらに引き上げられようとしているんだ。

イク　え～!大変なことだね～!

ケン　憲法に関わる問題も、やたら騒がれているだろう？日本医労連とか、全労連の新聞で選挙特集号をしているから、読んでみて！

イク　わかった。とりあえず、投票にはしっかり行くことにするよ！

ケン　さすがイクちゃんだけあるね。

イク　じぇじぇじぇじぇ!

みなさんも職場で、声を出して読みあわせてね！

貧困と格差をなくせ！

正社員が当たり前の社会に

講演する宇都宮健児弁護士

6月1～2日に「非正規ではたらくなかまの全国交流集会inいわて」が一関文化センターで開催され、全国から460人、県医労から5支部・本部11名が参加しました。

1日目は「年越し派遣村」など反貧困運動の先頭に立ってたたかう弁護士・宇都宮健児さんが「弁護士は見た！日本の貧困と政治」と題し、記念講演を行いました。「生活保護受給者が増えているのは、貧困と格差が広がっているから。生活保護水準は最低賃金とも連動するだけに、最低賃金を上げて労働条件を改善すべき。消費税増で貧困と格差はさらに広がる。『経済の貧困』とともに『人間』関係の貧困』が進み、孤立していく。孤立しないよう『思いやり』『助け合い』『支え合い』のある社会を作っていく。いろいろな制度を変えるには政治を変えなければいけない。政治に無関心ではなく、貧困者の立場に立っている人を送り出していこう」とテンポ良く現状と今後の運動について訴えました。また、生活保護や労働組合について「学校教育の中でも権利がある事だけを教えるのではなく、生活保護の申請方法やデモなど自分たちでやってみることが必要」と述べました。

基調報告、岩手（陸前高田）の被災地報告、各労組関係者のリレートーク、集会アピールの採択で貧困と格差の是正、ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）実現へ結束を誓い合いました。

2日目は、職場の実態を報告・意見交換する分科会や、原発問題・メンタルヘルス問題の講義など14の分科会・講座が行われました。分科会終了後、一関市街を、「解雇・雇い止め反対！」「最低賃金1000円以上に！」など非正規の声をアピール・行進しました。

マツダ派遣切り裁判の報告をする原告団　佐藤次徳さん

沿岸、被災地からの行進も
広島、長崎へ国民平和大行進
県内で1千人を超す参加者でリレー

今年も、原水爆禁止、核兵器の廃絶を訴え、全国を行進する国民平和大行進が取り組まれました。

岩手県へは、5月6日に北海道・礼文島を出発した行進が、6月8日から16日まで県内を縦断。さらに、久慈コースや、宮古を出発し、大槌、山田、陸前高田など被災地を経由するコースも取り組まれました。

久慈支部では、岩手県母親大会の前日でしたが、支部代表が行進に参加。

10日㈫の盛岡市内の行進は、中心部に近づくにつれ増え、130人になりました。県公会堂前の歓迎集会には、県被団協事務局長などが駆けつけあいさつ。集会後は、平和のつどいが行われました。

たくさんの学生が参加した盛岡市内の行進

安心できる医療・介護と社会保障を

第40回医療研究全国集会 in 青森

「国民と広く連帯し、患者・住民と医療・福祉労働者の人権・生命の尊厳を守ろう」をテーマに開催された「全国医療研」は、6月14日（金）～16日（日）、青森市文化会館を中心に開催されました。3日間の参加者は、全国から920名を超え、県医労からは5支部・本部16名が参加しました。

オープニングはやっぱり「ねぶた」

初日の記念講演は「今日の貧困問題と社会政策の課題」と題し、立命館大学の唐鎌直義教授が行い、「イギリスのNHS（国民保健サービス）は保険料を払わなくても、医療費は無料」等と日本の社会保障制度の脆弱さを浮き彫りにしました。2日目は18分科会と市民講座が行われ、県医労からのレポート発表は2名でした。六ヶ所村核燃料サイクル施設と三沢米軍基地を見学する動く分科会には、原発事故後の関心もあり90名もの参加がありました。

立命館大学　唐鎌直義教授

最終日は一関市国保藤沢病院長の佐藤元美氏が「地域に合った住民が求める医療とは」と題し、記念講演を行いました。来年は東京で開催されます。

【感　想】

私たち労働組合が職場の労働条件を守り改善して行くこと、そして選挙に参加し政治の流れを変えることが集会スローガンの実現につながると思いました。見聞きし感じたことを、一人でも多くの人に伝えようと思います。

久慈支部　○○○○

分科会は、「動く分科会」に参加しました。三沢基地では、米軍と自衛隊の社宅や自宅の違いに圧倒され、米軍の住宅手当は大佐クラスで約40万円もらっていることには驚きました。六ヶ所村は、とてもきれいに整備され、原発の予算がばらまき状態で使用されていることを自分の目で見て、改めて感じました。増税、保険料値上げと、騒いでいる今、思いやり予算などに税金を使い、お金がないからと赤字国債を増やし続けているとはお粗末なことです。安心して老後を迎えられる日本になってほしいと改めて思いました。

南光支部　○○○○

精神の分科会へ参加しました。脱入院治療が叫ばれているがまだまだそうでない状況もあることが、改めて実感できました。各施設での取り組みなどのレポートを見て、自分自身も頑張っていかなければと思いました。青森でのホタテと牛乳味噌ラーメンは格別でした。

一戸支部　○○○○

青森ねぶたの太鼓で出迎えられ、記念講演・分科会に参加して3日間満喫。分科会は、「救急・災害医療」に参加しました。大槌町でのリハビリ支援について青森から報告がありました。あらためて全国から多くの医療スタッフの方々から支援していただいたことへの感謝でいっぱいになりました。

中央支部　○○○○

出会いを力に よりよい社会をめざして

第59回 岩手県母親大会 in 久慈 6月9日

第59回岩手県母親大会は、6月9日、久慈市で開催されました。東日本大震災の被災地で行われるのは初めてです。この日は、「やませ」の心配をよそに朝から気温が上昇し、全県から1100名の参加者が訪れました。

午前は、子育て・教育、原発、メンタルヘルス、憲法の分科会、記録映画「希望のシグナル」のほかに、希望者の多かった「三鉄に乗って復興応援」、「久慈琥珀」の見学分科会が行われました。

記念講演の山本万喜雄先生

講演を聞く参加者（アンバーホール）

「三鉄」では、駅長さんが、出発のベルを参加者の男児に任せたり、車窓からの景色を見ながら被災当時の様子を話してくれました。参加者からは「これからも復興の力になりたい」「いい思い出になった」などの感想が寄せられました。

また、「メンタルヘルス問題」の分科会では、県医労女性部長の○○○○さんが司会を務めました。

午後の全体会は、久慈高校マンドリン部の演奏で開会しました。澄んだ優しい音色に会場が静まり、しばし演奏に聞き入りました。

来賓のあいさつで山内久慈市長は「被災地での開催に感謝。アマノミクス効果が現れている」など、ユーモアを交えて歓迎のあいさつをしました。

記念講演は、愛媛大学名誉教授の山本万喜雄さん。だじゃれを交えながら子育ての喜びについて話され、子どもの思いの受け止め方や、つらい時、病んでいる時などの発想の転換など、子育てを通して自分も育つ楽しさを学びました。

県医労からは14支部・本部66名が参加しました。

見学分科会

太古のロマン 久慈琥珀博物館とまが玉づくり

琥珀博物館では琥珀の成り立ちや展示品などを駆け足で見学。まが玉作りは3種類の紙やすりで形を整え、ピカピカに磨いてアクセサリーをつくりました。その後、「ビストロくんのこ」で短角牛のトマトカレーを美味しく頂きました。もっと時間がほしかった。（○○○）

大自然の中でリフレッシュ

岩手医労連青年部プレアクトいわて in GETO

5月25～26日（土・日）、岩手医労連青年部主催の青年交流会「プレアクトいわてin北上」がサンタハウスGETOを会場に開催され、北上済生会病院、一関病院など8単組から・43名が参加、県医労からは7支部18名が参加しました。

北上市内のスーパーに集合し、プレアクトがスタート。夕食のBBQなどの買い出しを分担し、会場のサンタハウスGETOへ。15時からは医労連・鈴木書記長を講師に空の下での情勢学習会と全国アクト参加経験者による全国アクトの紹介が行われました。

夕食交流会では、BBQを囲みながら、くじ引きによるチームに分かれ、利き酒ならぬ「利きお茶」や「利きカクテル」などのゲームで、初対面どうしでも打ち解け、楽しく交流することができました。

つぶやき

仕事に追われ、休みは寝て、ごはんを食べて終わり…。自分の人生こんなで良いのか、真剣に悩んでいます。連休くれー!!

胆沢支部　ロージー

連休で東京から帰ってきた大学生の息子。咳き込みがひどく、朝の3時4時までゴホゴホするので心配になり病院に行った所、マイコプラズマ肺炎でした。帰ってきている時で良かった。不幸中の幸いです。

江刺支部　〇〇〇〇〇

気候も過ごしやすくなり、夜勤前後も外に出たい欲求にかられ…。日勤の疲れ、夜勤の疲れが重なり、後悔することも…。ゆっくり体を休ませる気持ちも大事にしていこうと思う今日この頃です。

中央支部　〇〇〇〇

一家の大黒柱としてこのまま給料が減らされるのは死活問題です。何とかして欲しい。増額は遅すぎるのに減額は早すぎます。

遠野支部　まどまどママ

組合員歴15年以上ですが、3月号の懸賞パズルに初めて応募しました。そしてみごと当選！「応募してみるもんだな～」と思い、今月もチャレンジ。

大船渡支部　宝くじ

上司も患者も皆さん、それぞれで毎日疲れます。労働者にも愛の手を！

中央支部　あまちゃん

5月号懸賞パズルの正解者が19名中6名という前代未聞の結果にビックリ。「みなさん、かなりお疲れなのだな～」と感じさせられた出来事でした。

本部書記局　担当者

5月号パズル 当選者発表

5月号パズル「まちがいは7つ」には19名の応募がありましたが、問題が難しかったのか、わずか6名の正解でした。正解者に図書カードを贈ります。

■5月号当選者（敬称略）

あまちゃん、マグナム、〇〇〇〇（中央支部）、まどまどママ（遠野支部）、ロージー（胆沢支部）、〇〇〇〇〇（江刺支部）

とんがらし

6月21～22日、県医労第69回定期大会が開催された。第2号議案の2013年度運動方針には、職員定数枠の拡大・大幅増員に向けた取り組みが提案され、議案を補強する立場で討論が相次いだ▼「時間外が22時、23時。年次取得がゼロの職員もいる。病院の中で、病休者が多く産休・育休、育児時間や部分休業を入れると、休暇＋フルタイム以外の職員は86名。9回夜勤は多発し、スタッフ自ら4―4体制から、3―4体制に引き下げて欲しいと願い出た」と。「夜勤専従看護師」の声や実態についても多く寄せられた。「夜勤をすることで師長の顔を見なくてすむことが何より（メリット）。上司のパワハラの方が身体的ストレスを上まわっている」、「日勤の帰る時間の遅さに比べれば、夜勤専従は時間外が少なくてすむ。しかし、日勤の人手は足りていない」。栄養科や薬剤部門の人手不足も深刻だ。医師の業務軽減として導入された医療クラークは、200名を超える全員が非正規職員。働きやすい職場・働き続けられる職場とは、ほど遠い状況だ▼折しも、6月21日は日本医労連が提起した、「大幅増員・夜勤改善」の自治体請願が二戸市議会で審議され、県内13番目の請願採択となった。今までの「大幅増員・夜勤改善」の取り組みは決して無駄ではなく、これからの県議会請願を後押ししてくれるに違いない▼9月末までの3ヶ月、「県民に安全・安心の医療を提供するため『県立病院の職員定数拡大・大幅増員』を求める県議会請願」署名を、組合員一人ひとりが元気に訴え集めきろう！　（る）

県医労看護部会

夜勤専従看護師学習会

2013年 8月3日(土)

13:00～15:00

盛岡市 県民会館第2会議室

学習会「夜勤専従看護師の問題について」

労働科学研究所
慢性疲労研究センター
センター長

佐々木　司 氏

職場川柳

◇「血で染めず」　白衣に決意し　投票へ
（平和がポイントのナース）

◇夏季休暇　なぜか勝手に　非番日へ
（希望通り休みたい人）

◇給与減　勤務意欲も　笑顔も減
（働きやすい職場を願う職員）

◇あきらめず　投票してこそ　世直しに
（7月21日は投票日）

◇TPP　医療・保険が　ターゲット
（将来を危惧する青年）

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送り先は〒020－0023 盛岡市内丸11－1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は7月末日（必着）です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」（職場の話題など何でも）を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく！

7月の予定

1日(月)　県医労看護部会(水産会館)
5日(金)～6日(土)　県医労女性部第56回定期大会(ホテル紫苑)
6日(土)　岩手医労連特定看護師問題緊急学習会(水産会館)
13日(土)　県医労支部長会議(水産会館)
24日(水)～26日(金)　日本医労連第63回定期大会
27日(土)～28日(日)　県医労青年部第56回定期大会(赤い風車)

8月の予定

3日(土)　県医労夜勤専従看護師学習会(県民会館)
6日(火)～9日(金)　原水爆禁止世界大会(長崎)
10日(土)～12日(月)　全国保育合同研究集会 in 神奈川
23日(金)～25日(日)　全国アクトインサマー in 広島
23日(金)～28日(水)　岩手平和美術展(マリオス)
24日(土)　県医労支部長会議(県民会館)
24日(土)～25日(日)　第59回日本母親大会(東京)
31日(土)～9月1日(日)　岩手医労連第66回定期大会(愛真館)